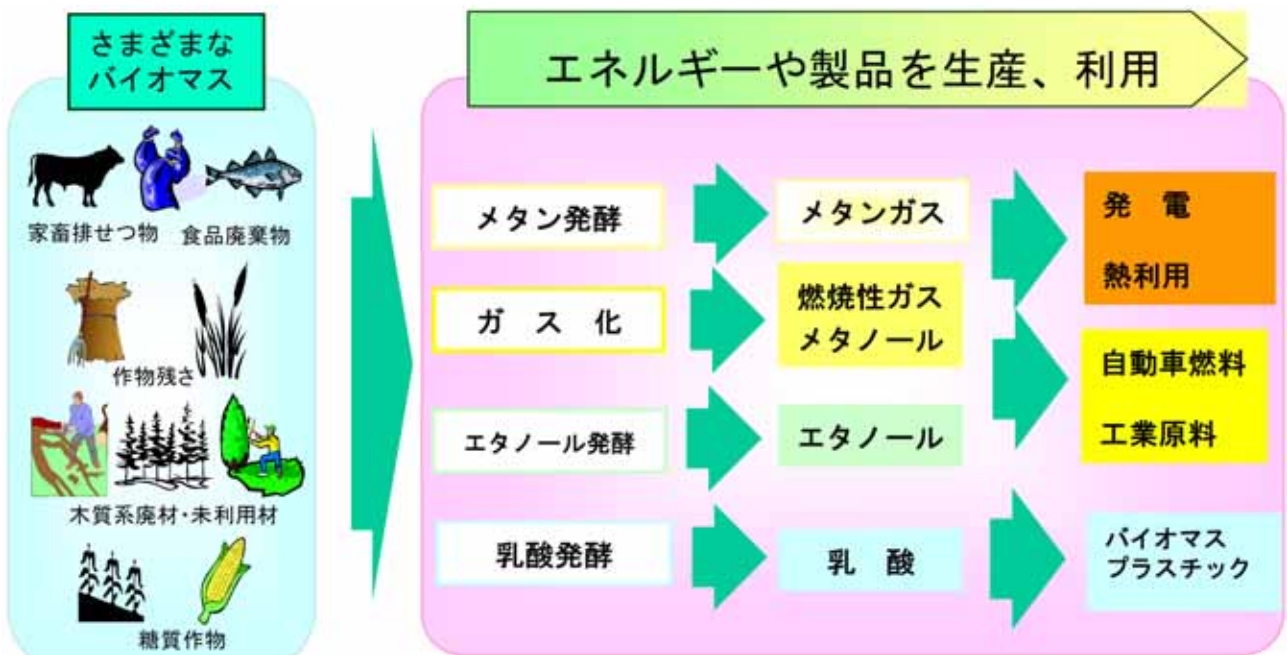


環境にやさしいバイオスタウンの推進

問い合わせ先 黒部市役所市民環境課
54 - 2111 内線 216、217

平成 20 年 3 月黒部市は国よりバイオスタウンとして認定を受け国より公表を受けました。

バイオスタウンとは、市内にあるバイオマス資源を地域内で積極的に有効利用することで、石油や天然ガスなどの使用量を減らし、CO₂ などの温室効果ガスの増加を抑制させ、環境にやさしいまちづくりを推進するまちのことです。



1. バイオマスとは動物や植物から作られます。

「バイオマス」は動物や植物から作られる何度も繰り返して利用できる再生可能な有機性資源です。代表的なものに家畜排せつ物や生ごみ、下水道汚泥、浄化槽汚泥、木くず、もみがらなどがあります。

バイオマス資源は大きく 3 種類に分けられます。

廃棄物系バイオマス

- 畜産資源 (家畜排せつ物等)
- 食品資源 (加工残さ、生ごみ、動植物性残さ等)
- 産業資源 (パルプ廃液等)
- 林産資源 (製材工場残材、建築廃材等)
- 下水汚泥・農業集落排水汚泥・浄化槽汚泥



未利用系バイオマス

林産資源 (林地残材)

農産資源 (稲わら、もみがら、麦わら等)



資源作物

糖質資源 (さとうきび、てんさい)

でんぷん資源 (米、いも類、とうもろこし等)

油脂資源 (なたね、大豆、落花生等)



2. バイオマスを使うメリット

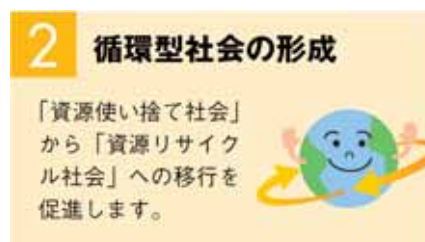
バイオマスを利用することで次のような利点があります。

CO₂の増加を減らし地球温暖化を防止

バイオマスに含まれる炭素は、もともと大気中のCO₂を植物が吸収したもので、実質的に大気中の温室効果ガス(CO₂)を増加させません。(カーボンニュートラル)



資源を繰り返し有効利用する「循環型社会」の形成
「資源使い捨て社会」から「資源リサイクル社会」への移行を促進します。

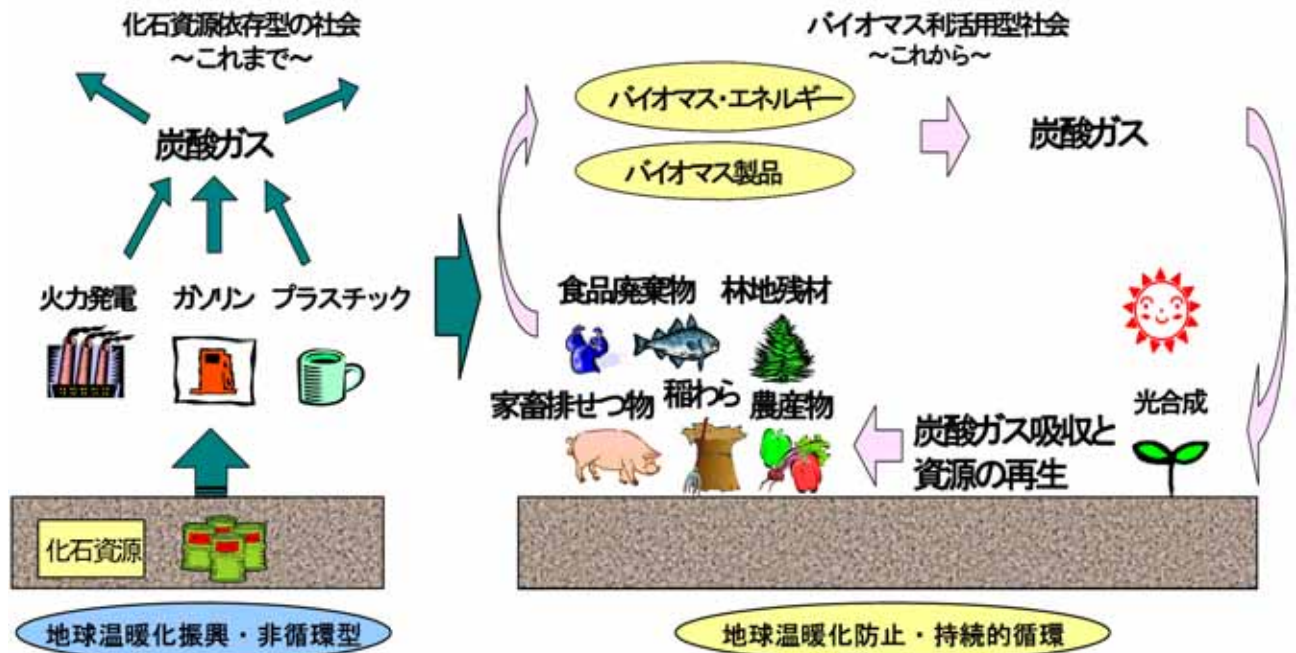


新たな産業の育成
バイオマスを利用した「新たな産業」が生まれます。



農山漁村の活性化
農業、林業、漁業に「エネルギーや素材の供給」という新たな役割が期待されます。





黒部市では次のバイオマスについて重点的に有効利用を考えています。

今後、黒部市では下水道・農業集落排水・浄化槽汚泥、生ごみ、廃食用油、廃棄紙、廃木材・剪定枝等の有効利用と、環境にやさしいバイオプラスチック製品の普及を目指し、利活用施設の整備とバイオマスの回収から製品化までのシステム作り、製品の利活用方法の確立を目指していきます。

予定している取り組み

下水道汚泥等利活用事業

下水道・農業集落排水・浄化槽からの汚泥と、家庭や事業所からの食品残渣・生ごみをガス化して、熱回収と発電を行います。電気は施設で利用し、熱で汚泥を乾燥汚泥にし民間施設で有効利用していきます。

廃食用油等のバイオディーゼル燃料化推進事業

家庭から排出される使用済み天ぷら油（植物油）を市民、事業者、行政の協働により廃食用油を収集・運搬・処理しバイオディーゼル燃料として再利用する。

廃木材・流木等の利活用促進事業

黒部川流域で発生する流木や工事等で発生する廃木材、造園剪定による刈草等は、既に市内の民間事業者において、パルプ原料、燃料チップ、畜舎敷料、堆肥などに变换され有効利用されています。今後、より一層バイオマスの利活用が促進されるよう同施設の利用を市民・事業者へ啓発していきます。

資源作物（非食用多収穫米・なたね）活用事業

バイオ燃料の原料となる多収穫米や菜の花などの作付けを、農地の有効利用のため国や県の補助金制度、実証結果を参考にし、関係機関、農業団体、農業者の意見を取り入れ、導入を検討していきます。

食品廃棄物（生ごみ）のバイオマス利活用促進事業

生ごみをなるべく出さないよう家庭や事業所に啓発していくとともに、発生した生ごみについては生ごみ処理装置などにより堆肥や土壌改良材に変換し利活用していきます。

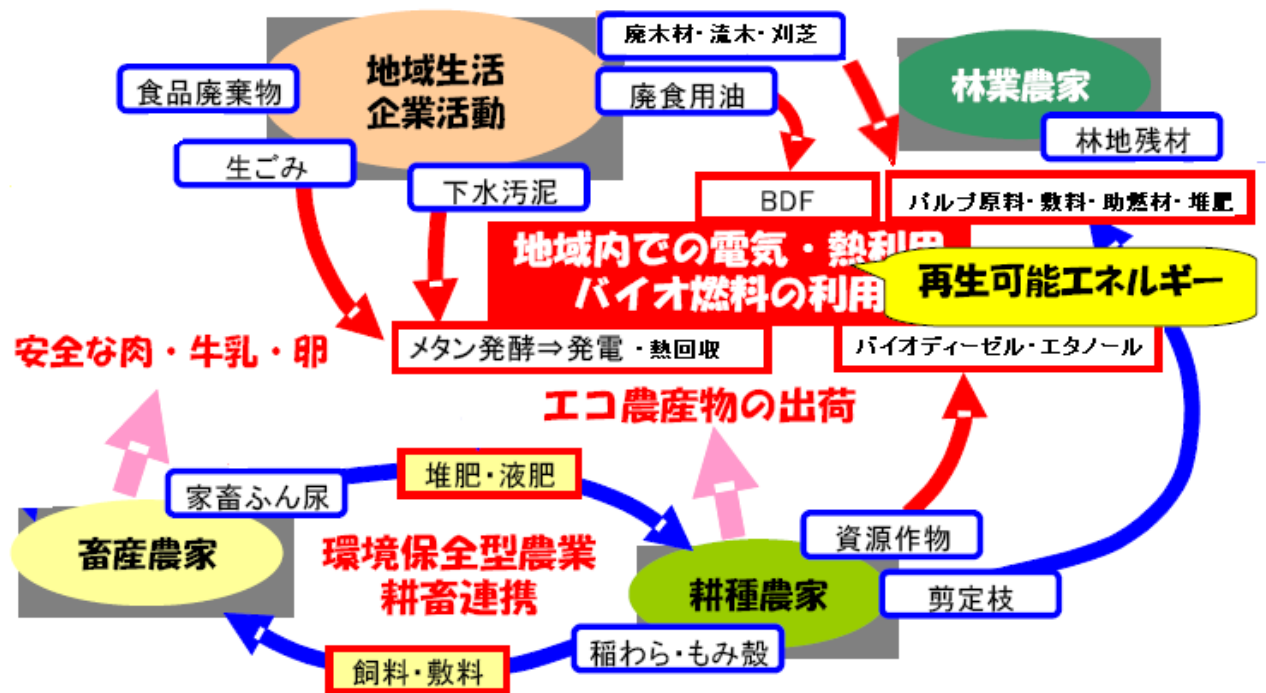
リサイクル可能な廃棄紙のバイオマス利活用促進事業

家庭及び事業所で発生する廃棄紙の分別の徹底と強化を図り、再生紙原料等として利活用が促進されるよう普及・啓発していきます。

資源作物を原料としたバイオプラスチック製品の普及啓発事業

環境にやさしいバイオプラスチック製品を積極的に利用されるよう、市のイベント開催時に紹介するなど普及・啓発していきます。

バイオマスタウン構想イメージ



すでに行われているバイオマスの有効利用例

夏野土木工業(株)木材リサイクルセンター
(黒部市窪野杉大平 59 番地)

廃木材、流木、剪定枝からパルプ原料や堆肥等を製造しています。
一般家庭から出る剪定枝も有料で処理しています。



< 写真 > 木材リサイクルセンター

環境ジャパン(株)

(黒部市尾山 467 番地)

使用済み天ぷら油などの廃食用油から軽油代替燃料のバイオディーゼル燃料を作っています。

吉澤工業(株)

(黒部市若栗 2163 番地)

とうもろこしや米を原料の一部に使った自然にやさしいバイオプラスチック製品を製造しています。

バイオマスタウン構想策定までの経緯

平成 19 年 7 月	第 1 回黒部市バイオマスタウン推進協議会 第 1 回黒部市バイオマスタウン構想策定委員会
平成 19 年 9 月	第 2 回バイオマスタウン構想策定委員会
平成 19 年 11 月	第 2 回黒部市バイオマスタウン推進協議会
平成 19 年 12 月	第 3 回黒部市バイオマスタウン推進協議会
平成 20 年 2 月	国へバイオマスタウン構想書の提出
平成 20 年 3 月	バイオマスタウンとして国より公表